



# プレイセラピー特別講座 ～海外講師プログラム2017～



プレイセラピーの基本を学び、遊びをつかってさまざまな子どもと関わるようになると、「自分はこのことをどう考え、何を選ぶのか」が問われる場面が多々あるかと思います。そこで、プレイセラピーの基礎的スキルを身につけた方を対象に、目の前の子どもの捉え方やスキルを磨くための講座を企画しました。講師には、プレイセラピーの第一線で国際的にご活躍のシェルビー博士とコットマン博士をお招きします。入門講座では、学派を超えた標準的な基礎と実践を学びますが、今回は、認知行動プレイセラピーとアドレリアンプレイセラピーという2つの学派の観点からのアプローチを学びます。いずれも、実践的なお話や体験を通して学べるワークショップ形式になっています。学びは楽しいときに最も定着します！ご自分の知識と体験がつながり、クライアントの顔が思い浮かんで、次の面接が待ち遠しくなることでしょう。皆様とお会いできることを心よりお待ちしております。

## I ト라우マを抱えている子どものための認知行動プレイセラピー

【日程】2017年7月29日（土）10：00～18：00（6.5時間）受付9時30分～  
2日間連続 30日（日）10：00～17：00（5.5時間）受付9時30分～

\*各日とも1時間半の昼休みが入ります

【会場】東京都南青山を予定 詳細は申込み後にお伝えいたします

【定員】35名

【講師】Dr. Janine Shelby ジャニン・シェルビー博士

【講座内容（講師より）】

この講座では、認知行動療法（Cognitive Behavioral Therapy:CBT）と呼ばれる欧米でますます人気が高まっている研究に裏付けされた有力な治療法について習得します。また、トラウマを負った子どもたちにCBTを発達にきめこまかく対応した方法で実践するためにプレイセラピーの技法を使えるように訓練します。

認知行動プレイセラピーを学び練習することに加えて、子どもの症状を正確に評価し、改善状況の経過を追えるようになるため、心理的評価尺度（日本語翻訳版）を実施、採点、解釈する練習をします。この講座では、災害後の心理的介入に関する西洋的アプローチと日本的アプローチの類似点と相違点についても簡単に説明します。

ゴール：参加者は次のことができるようになります：

- ・ CBTにおける認知トライアングルの要素が何かを言える
- ・ CBTで使用できる3つのプレイセラピーの技法を挙げられる
- ・ プレイセラピストがトラウマに関連する症状をアセスメントするために使うアセスメント手段がどのようなものかわかる
- ・ 西洋的介入アプローチと日本のアプローチの異なる点を2つ挙げられる
- ・ 遊びがCBTの中核目標を達成するためにどのように役立つのかがわかる

## Ⅱ プレイセラピーの発展的なスキルと概念—アドレリアンプレイセラピーの観点から—

【日程】2017年9月16日（土）10:00～18:00（6.5時間）受付9時30分～  
2日間連続 17日（日）9:30～15:00（4時間）受付9時00分～

\*各日とも1時間半の昼休みが入ります

【会場】東京都南青山を予定 詳細は申込み後にお伝えいたします

【定員】35名

【講師】Dr. Terry Kottman テリー・コットマン博士

【講座内容（講師より）】

この体験的で楽しいワークショップでは、解釈、治療的なメタファーをデザインすること、ダンスや動きのアクティビティ、リフレーミング、ロールプレイといったより発展的なプレイセラピーのスキルの理解を深め、身につけていきます。解釈、その子その子に合わせて考えられたメタファー（custom-designed metaphors）、ダンスや動き、ユーモア、リフレーミングを使う方法を探求すると同時に、ロールプレイを用いて、プレイセラピーのクライアントが自分の呈している問題やその背景にある事柄について洞察を得られるよう手助けします。また、プレイセラピーのセッションの中で、クライアントにより適応的な行動を教え、自己敗北的な信念と態度を変えられるよう手助けし、感情を探索し、向社会的な問題解決スキルを育て、関係性を築くスキルを伸ばすために、治療的な物語法や、ダンスや動き、ロールプレイをどのように使えばよいのかを練習します。

【参加条件】次のいずれかに当てはまる方

- ① 当会主催のプレイセラピー入門講座等を受講済の方
- ② 臨床心理学を専攻しプレイセラピーを行っている方
- ③ 臨床心理学を専攻し、プレイセラピーを学んでいる学生

\*②、③の方は、指定の文献購読を読むことが必要となります。

何かご不明な点があれば、メールでお問い合わせください。

【参加費】7月（シェルビー先生）の講座のみ

2日間48000円 早割6月15日までのお申し込みは44000円

9月（コットマン先生）の講座のみ

2日間48000円 早割7月15日までのお申し込みは44000円

2講座両方 2講座同時申し込み割引4日間92000円

6月15日までのお申し込みは2講座割引&早割で86000円

【昼食】館内は原則として飲食禁止です。お昼は外のお店をご利用ください。

ただし飲物の持ち込みは、ふた付きの容器に入ったもの（ペットボトルや水筒など）のみ可能です。

【服装・持ち物】体験型のワークショップです。動きやすい格好でお越しください。

机はなく、椅子のみの会場となります。必要な方はボードや下敷きをお持ちください。

## 《 お申し込み・お問い合わせ 》

\* 必要事項をご記入の上、メール (japt@ja4pt.org) でお申し込みください。

\* お問い合わせもこちらのメールでお願いいたします。

### ▽ 必要記入事項 (16項目) ▽

- ① お名前 ②ふりがな ③性別
- ④連絡先住所 ⑤電話 (緊急時用) ⑥メールアドレス
- ⑦所属 ⑧職種 ⑨心理臨床経験年数 ⑩プレイセラピー臨床経験年数
- ⑪卒業 (所属) 大学や大学院名と専攻名
- ⑫お申込みプログラム名
- ⑬これまでにご参加の日本プレイセラピー協会主催の研修名と年度、日数 (わかる範囲で結構です) もし受講経験がない場合、他の研修や授業、SVなどでプレイセラピーを学んだ経験をお書きください。
- ⑭臨床心理士資格の有無 (あれば臨床心理士番号)
- ⑮当研修会をお知りになったきっかけについて
- ⑯米国プレイセラピー協会の認定証発行の希望について (希望者のみ)

## 《 研修証明書発行について 》

\* 本講座は、米国プレイセラピー協会における認定証明書発行対象のプログラムとなっています (APT approved provider : 08-225)。ただし、申請基準の見直しがあり、現在、日本の臨床心理士資格保有者は米国の認定プレイセラピストの申請資格が認められないことになりました。米国認定プレイセラピスト資格の申請をご検討の方はまず米国プレイセラピー協会の認定資格をご確認ください。該当しなくてもご希望の方には発行いたします。発行手数料は3000円です。ご希望の方はお振込み金額合計に3000円をご加算ください。

\* お申込みメールを受け取り後、参加費振込み口座をお知らせいたしますので、お振込みをお願いいたします。お振込みをもって正式受付となります。確認後に正式受理通知をメールいたします。

\* ご入力のメールアドレスにお間違いがありますと、こちらからのご連絡ができなくなりますので、ご注意ください。

\* 振込口座のお知らせや正式受理通知などが1週間以上たっても届かない場合には、通信障害等の可能性がございますので、お手数ですが再度メールにてお問い合わせくださいますよう、よろしくをお願いいたします。

\* お振込み後は、お申し込者様のご都合によるキャンセル・返金はいたしかねます。ご了承ください。

\* 先着順 (参加費の入金確認順) にて受付いたします。定員になり次第、締切日前でも締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

\* 臨床心理士ポイント申請予定です。

## 講師紹介

### Janine Shelby, Ph.D. ジャニーン・シェルビー先生



神戸女学院大学の Drake 客員教授（昨秋より 1 年間）、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）の準教授。ハーバーUCLAメディカルセンターでは、子どもトラウマクリニック（Child Trauma Clinic）の責任者として、児童心理学の訓練の指導にあたってきた。トラウマとなる出来事を体験した人々への PTSD 治療介入に力を注いでおり、人道的援助にあたる NGO のコンサルタントも多く務め、アジア、ラテンアメリカ、ヨーロッパの各国で、自然災害、戦争、テロなどの心理的支援活動を行ってきた。シェルビー博士は、米国プレイセラピー協会のプレイセラピー研究部門の責任者を務めたこともあり、プレイセラピーをエビデンスに基づいた実践の中で行うことを促進していくことに力を注いでいる。専門的な出版物では、トラウマとなる出来事を体験した子どもの治療に関する臨床実践における諸問題に焦点を当てている。

### Terry Kottman, Ph.D. テリー・コットマン先生



「ザ エンカレッジメント ゾーン」を設立し、そこでプレイセラピーの訓練とスーパーヴィジョン、ライフコーチング、カウンセリング、そして女性のための“プレイショップ”（註：ワークショップをもじった造語）を行っている。

コットマン博士は、個人心理学（アドラー心理学）とプレイセラピーのアイデアと技法を組み合わせた、子ども、家族、および成人の治療のためのアプローチであるアドレリアン プレイセラピーを開発した。コットマン先生は定期的にワークショップを行うと同時に、プレイセラピー、活動ベースのカウンセリング、ライフコーチングについて執筆している。代表的な著作には Play Therapy : Basics and Beyond があり、最新のものとしては Meany-Walen 博士との新しい本 How To Play Therapy が出版予定である。その他にも、プレイセラピー、メタファー、学校のカウンセリング、子どもや家族とのカウンセリング、アドラーの療法、完璧主義に関する多くの論文や書籍の章を書いている。2014 年には、プレイセラピー協会の生涯功労賞を受賞した。

主催：日本プレイセラピー協会  
<http://www.ja4pt.org>

